

第1回加西市総合計画審議会 会議録

| | |
|--------------------|--|
| 会議の名称 | 第1回加西市総合計画審議会 |
| 開催日時 | 平成28年1月16日(土) 午前10時～12時 |
| 開催場所 | 加西市役所 1階 多目的ホール |
| 議長の氏名 (会長) | 牧瀬 稔 |
| 出席及び欠席委員の氏名 | <p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大藤 友也 ・金川 雅則 ・釜坂 明廣 ・下江 一将 ・谷勝 公代 ・常峰 八郎 ・西脇 亜李沙 ・濱本 泰秀 ・吉田 廣(副会長) ・牧瀬 稔(会長) <p><欠席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村上 尚美 |
| 出席した事務局職員の氏名及びその職名 | <ul style="list-style-type: none"> ・理事 一幡 孝明 ・ふるさと創造部長 西岡 義信 ・ふるさと創造部人口増政策課長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 小菊 啓靖 ・ふるさと創造部人口増政策課主任 小林 和敏 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 小山 映 |
| 1 議事 | <p>(1) 総合計画策定の進め方について</p> <p>(2) 前期基本計画の評価・検証について</p> <p>(3) 後期基本計画について</p> |
| 2 会議資料 | 第5次加西市総合計画 後期基本計画(素案)ほか |
| 3 会議の経過 | 別紙「第1回加西市総合計画審議会・会議の経過」のとおり |

(別紙) 第1回加西市総合計画審議会・会議の経過

| 発言者 | 会議の経過 / 発言内容 |
|-----|--|
| | <p style="text-align: center;">開会</p> <p>1 市長あいさつ 総合計画審議会委員にお忙しいなか就任していただき、感謝申し上げます。 2期目を力強く進めて行きたいが、基本的な考えは、暮らしやすいまちづくであり、そのためには一人ひとりが自由に意見を言えることが大切である。2期目の選挙では、全市民の半分の支持をめざしたが、投票率の低下もあって、絶対得票率は前回の43%から今回は39%と下がり、自分の権利をしっかり行使してほしいと願う。 5年前の総合計画審議会の答申は、市長就任時には済んでおり内容的にはいいものの、人口減少を容認する目標だったので、ワーキングで議論し人口増に修正した。 時代の変化のスピードは激しいものがあり、国道372線のバイパス化にあたっては、鶉野飛行場跡地を活用しての活性化ため、先行して市道を付けることや道の駅を考えたい。 総合計画はあらゆる可能性を盛り込むので、総花的であってよいと考えている。地域創生戦略は、交付金のこともあって総合計画の見直しと順番が逆になってしまったが、95の事業を織り込んでいる。これまで4年間取り組んできた人口増策をさらに加速させるにあたり、委員の皆様のご協力をお願いしたい。</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 会長・副会長の選出</p> <p>4 後期基本計画の諮問</p> <p>5 議事 ・加西市からの諮問書は、後期基本計画として今後5年間のまちづくりの基本方向を明らかにしてほしいという内容となっている。限られた期間なので、時間厳守で自由な意見を各委員からお願いしたい。今回は、基本的なところについて主にご議論いただきたい。</p> <p>(1) 総合計画策定の進め方について 事務局から説明 〔質問・意見なし〕 事務局のとおり承認された</p> <p>(2) 前期基本計画の評価・検証について 事務局から説明 〔質疑応答等〕</p> <p>委員 ・資料の事前送付があつてから数日しか経っていないのに差替えが多いが、内容が変わったのであれば、該当箇所を赤字など分かるようにしてほしい。 ・例えば1番最初の「生涯学習パスポートの登録者数」という指標について、事業評価の数字を確認する必要があるにも関わらず素案では消えているが、その理由は何か。</p> <p>事務局 ・担当課では、「生涯学習パスポート」制度自体の見直しを図ろうと考えている。このため、素案からは一旦削除しているが、「生涯学習パスポート」に代わる指標をまだ落とし込めていない状況であるので、第2回までには精査する。</p> <p>会長 ・市民目線で考えると、今回の素案では少し評価が分かりにくい。可能であれば、</p> |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 副会長 | 100点満点で何点までいっているのかを表示してほしい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 目標設定しても5年経過すると社会情勢も変わり実態にそぐわないケースが出てくると思うが、そのあたりは何か考えているのか。 |
| 副会長 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画の実実施計画として、加西市行財政改革プランを策定している。この3カ年の計画により、毎年度、見直しをしながら進捗管理を行っている。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 5年前の指標を使い続けることに疑問がある。ものさしとなる指標そのものも見直しをする必要があるのではないか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 行財政改革プランの評価検証のタイミングで、指標も含め見直しを行うこととしたい。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 前回の答申をどのように計画に反映しているのか。答申に対する取組みを出すべきではないか。 今回も答申の回答となる内容をわかるようにフォローするのが良い。人口の見直しの記述は、後ろの方にあるが前の方に記載した方がよい。 |
| <p>(3) 後期基本計画について 事務局から説明</p> | |
| <p>〔質疑応答等〕</p> | |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 都市像のキャッチフレーズは、「100人乗っても大丈夫」のようなわかりやすいものがよい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 「暮らしにほどよい」は、マッチしているが、もう少しインパクトがあった方がよいと思う。キャッチフレーズとしては弱いという印象である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 5万人都市再生は、動かしようがない。若年層を増やそうとしているのに、「便利な田舎」は響くのか。リタイヤした人が来るイメージである。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 5万人は本当に達成できるのか。この目標は無理なように思う。外から来てもらわないといけないから、相当苦労しないと進まないのではないか。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 5万人は大前提として議論いただきたい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 「便利な田舎」という表現では、若い人は入って来ないような印象を受ける。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 個人的には良いと思うが、全国的にどこでも当てはまる。親としては、住みやすく、安全な暮らしができる体制をとってもらっているのはありがたいし、子どもものびのび過ごし、交通量も多くなく、自然も多い。ただ、何が便利か分からないので、もう少し、ひねった方がよいと思う。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 移住した人の体験談があればもっとイメージしやすいと思う。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 加西の良いところを聞かれると、何を言っても良いか困ることが多い。また、加西の手土産として何を持っていけばよいか困ることもある。キャッチフレーズとしては、若い人にとってはわかりにくい。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 島根県海士（あま）町は、「ないものはない」という言葉を使って有名である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 田舎とはどういうものか。加西の人と都会の人ではイメージが異なる。加西市は田畑があり食材は豊富だし、待機児童もない。都会では、育児休暇等で長期間休むと復職しにくい、加西ではそれは少ないと思う。田舎をどう感じるかで、市内・市外で違うと思う。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字ではなく「ひらがな」とするのも良いのではないか。特産品としては、ゴールデンベリーAは、かなり浸透している。しかしながら、中途半端な田舎というイメージがある。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 「とかいなか」という言葉がある。ルビとして付けるのもいいかもしれない。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 加西に移住するにあたり、自然豊かな所ということで来た。この地であれば自分がやりたいことが出来ると感じた。実際に住んでみると、控えめな印象がちょうどよいと思った。キャッチフレーズは、住んでいる人にとってはしっくりする言葉だが、外向けのメッセージではない。誰に向けて発信するのか。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> 何をメインにしているのか。それによってターゲットも変わってくる。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 地域創生戦略を主眼に取り組むため、ターゲットは若年層・子育て層の定住をメインにおいて整理していきたい。 |

| | |
|-----|--|
| 副会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口増対策は、他の自治体もしている。どういう人が、またこういった条件が整えばきてもらえるのかをよく考える必要があると思う。 ・ 加西に例えば地下鉄など都会と同じ都市機能を持たせるのは無理がある。加西は、住みやすく災害も少ないため、「不便ではない」ことを伝えることが事務局案である。 ・ 「とかいなか」という話があったが、加西市だけではなく北播磨はすべて「とかいなか」だと思う。いかに、加西市ということが伝わるキャッチフレーズとするかが重要である。 ・ キャッチフレーズは、インパクトがないといけない。市民自ら自分の住んでいるまちを考えないといけない。 ・ これまで加西に転入してきた人の声として転入者アンケート等を次回の会議で提出してほしい。加西の魅力について各委員へのアンケート（質問票）を事務局へ送るので、委員の方のご協力をお願いしたい。今回は、委員からのアンケートの回答内容を材料にして議論を進めていきたい。5万人都市再生は夢を持って取り組んでいかないといけないと思う。 |
| 事務局 | |
| 委員 | |
| 副会長 | |
| 会長 | |
| 副会長 | <p>閉会</p> <p>副会長あいさつ</p> <p>元兵庫県知事の阪本知事から昔、加西に来られた時に加西は色々いいところがあるが、「へそ」がないと言われたことを思い出した。加西市総合計画は、加西の「へそ」づくりのバックボーンとなるものである。</p> <p>きょうの会議で今回いただいた色々なご意見については、第2回審議会に向けて事務局の方で整理いただくようお願いする。</p> <p>今後とも、加西の元気アップに委員の皆様のご協力をよろしくをお願いしたい。</p> |